

>>>> JICA青年研修事業によるインド研修団が来所 <<<<

11月27日にインドから、JICA青年研修事業による経済行政（産業振興）コースの研修団14名が来所されました。

「ナマステー（こんにちは）」と所長のあいさつの後、センターの概要説明や所内見学、意見交換が行われました。鍛造や焼酎、シラス等の施設を見学し、特に鍛造関係について活発な質疑が行われました。また、技術支援や技術移転の現状についても質問があり、産業振興に対する関心の高さがうかがえました。



センター概要説明の様子

>>>> 九州・沖縄産業技術オープンデーで成果を発表 <<<<

12月2日にサンメッセ鳥栖において、九州・沖縄産業技術オープンデーが開催され、各方面から318名の参加がありました。合同成果発表会では、地域資源部の福留重人研究専門員が、(株)さつまファイナウッドとともに「枠組壁工法用材への県産スギ材活用のための基礎評価と生産システムの検討」のテーマで口頭発表を行いました。また、シーズ紹介ポスターとして下記の4件を出展し、担当研究員が来場者に対して内容説明を行い、活発な議論を交わしました。

- ① 本格焼酎における酵母混合仕込の開発
- ② スギ板材を活用した構造用面材の開発
- ③ 光特性測定システムの構築
- ④ 市販シラスバルーンの評価と高品質化



発表の様子

>>>> 研究成果普及セミナー in 奄美を開催 <<<<

12月8日に当センター奄美分庁舎において、研究成果普及セミナーを開催し、各方面から48名の参加がありました。

今回のセミナーでは、「大島紬製造技術を活かした新たな製品化への挑戦」と題した(有)はじめ商事の発表や、センター研究員によるこれまでの研究成果など6テーマの発表を行いました。

パネル発表や試作等の展示にも、多くの関心が寄せられ、活発な意見交換が行われました。



セミナーの様子

>>>> 特許登録 <<<<

「圧造金型」

県が平成23年4月7日に特許出願した「圧造金型」が、平成27年9月11日に特許登録されました（特許第5802901号）。

本発明は、安価で簡易な構成で疲労破壊を抑制し、長時間の連続使用を可能とする圧造金型を提供するものです。圧造で成形される圧造品の成形穴を有するダイスと、ダイスに対向して配置される一体構造の圧造工具を備えています。ダイスの成形穴に加工前の素材を配置し、圧造工具先端の押圧部により素材を押圧して圧造品を成形するにあたり、押圧部の弾性変形を積極的に促進し、加圧軸方向へのたわみにより、圧造及び除荷時の圧造工具先端の十字穴成形部に作用する応力振幅を低減させる溝空間または複数の穴空間を、圧造工具先端の押圧部端面から圧造工具内部へ加圧軸と平行に成形したことを特徴とします。



「鍛造パンチの設計方法及びヨークの製造方法」

県が平成26年3月24日に特許出願した「鍛造パンチの設計方法及びヨークの製造方法」が、平成27年10月30日に特許登録されました（特許第5828153号）。

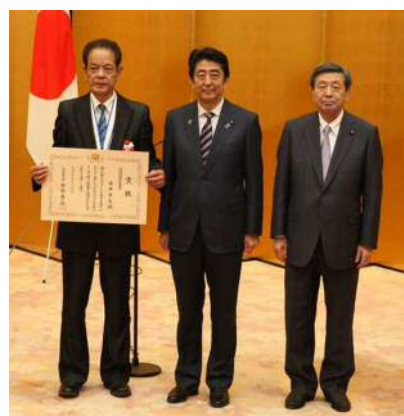
本発明は、後加工が不要で、高強度で高精度なヨーク（自動車部品）を得るための鍛造方法を提供するものです。2つの突起と1つの円筒部を有するヨークについて、共用する1個のダイスと、交換して使用する2個の鍛造パンチから構成される鍛造金型において、第1工程と第2工程の鍛造パンチを材料流動を積極的に促進あるいは抑制する形状とすることで、組み合わせにより材料流動を制御することにより高強度で高精度な鍛造品を得ることを特徴とします。



>>>> ものづくり日本大賞を県内企業が受賞 <<<<

政府は10月28日、第6回ものづくり日本大賞の受賞者を発表し、(有)藤井ピアノサービスが伝統技術の応用部門で内閣総理大臣賞を受賞しました（案件名：グランドピアノの音色と機能を持つアップライト型グランフィールピアノ）。

アップライトピアノを使用した練習では、鍵盤のタッチの違い等によって不自然な弾き方となるため、上達の妨げになるという課題がありました。当センターは高速度カメラによるハンマーの動きの観察や打鍵構造による音質の改善等において技術指導を行いました。その結果、既存のアップライトピアノに対し、開発した「装置」をつけることにより、グランドピアノ並みの表現力、連打性能、音質の再現に成功しました。



ものづくり日本大賞授賞式